

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	ひとり親家庭等医療費助成事業					
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名	鈴木 礼子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 4	-
【施策名】 児童福祉の推進		総合計画書 (ページ)	59	

予算名	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 5 母子福祉費	事業 5	ひとり親家庭等医療費助成事業費
-----	---------	-----------	-----------	------	-----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 18歳に達した日以後の最初の3月31日まで(規則で定める程度の障害を有する場合は20歳未満)の児童を養育するひとり親家庭等の保護者とその児童 ※生活保護受給者を除く	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住のひとり親家庭等の世帯数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ひとり親家庭等の保健の向上と、福祉の増進	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 受給世帯数
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 決定後 ②所得調査 ・現金給付、現物給付処理 ③審査 ・更新処理・医療証送付 ④決定・医療証送付 ・消滅処理	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 延べ医療費助成件数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明	
	成果指標	②の数値	件	653	623	610	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	件	17,621	16,203	15,678	

3 経費	事業費(実績)		円	43,156,769	39,021,056	37,850,174	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	14,324,769	11,688,056	11,319,174	
		特定財源	円	28,832,000	27,333,000	26,531,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.6	0.6	0.6	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	4,960,200	4,951,800	4,946,400	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	48,116,969	43,972,856	42,796,574		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成2年4月施行 ひとり親家庭に対する医療費助成について、都議会での質問や、都内の母子家庭団体からの強い要望があった。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし

仕 事 の 内 容	ひとり親家庭等医療費助成事業			
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係 課長名 鈴木 礼子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の方から、受給中の方が受給資格がないのではないかという通報が寄せられることがあるが、そのたびに該当者に対して聴取や訪問を行い、適正な受給に努めている。 年度更新時に、次年度において所得制限超過が予想される世帯には、事前に資格が喪失する旨を通知している。 			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	該当なし	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
	該当なし			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	特になし			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	特になし			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	特になし			
	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。